数年前から
僕に剣を教えて
くれている師匠
ランターナ
最近弟子入りした
僕と同い年の
ギタリス
剣の素振り
ばっかであきた～
基礎が
大事なんだよ…
そうだね○○
でも飽きが
くるのも事実…
そうだ‼
二人で
試合してみよう
勝った方の
お願いを私が
聞こうじゃないか
あっつぅ～
やるやる‼
大丈夫かな…
今まで練習して
きたんだ
努力を
見せつけてやれ○○

○○もよくやっていた
はい…
そんな顔するな○○っ
じゃあギタリスのお願い聞くから今日はここまで…
また明日の稽古でな
はやく♪はやく♪
師匠……
うっそんなところに手をいれるなっ…
これから師匠の家で行われることを想像すると…胸が張り裂けそうだった…

まさか○○が負けるなんて…
勝ったから一日中俺のセフレだからな♥
剣士として約束は守る…
稽古中は手を抜いていたなギタリス
能ある鷹は爪を隠すってね～w
○○の前で少しいじっただけで準備万端じゃん
○○は関係ないっ少し敏感なだけだっ
ピクッ
ビクッ
ビクッ
ピクッ
たらー

そろそろ師匠の事
ひぃひぃ
言わせちゃおうかな♥
ヤるなら
さっさと
してくれ
少しばかり
大きいからって
私がそんな簡単に
イクわけ……
パチン
パン
パン
さすが剣の師匠♥
締まりやっばw
腰止まんない♥
なんだ
この大きさっ
すまんっ
少し止まってっ
くれぇっっ
無理♥
あっやばいっ
イクっ
イクっ…

一発目っ中に出すぞ!!
ブーン
びくん
びくん
びくん
びくん
イッ…ッ
うわ、過去一出てるわw
はぁ
ビク
ビク
あぁ
すげ～簡単にイくじゃんw
ビク
まだまだこれからだってのに

僕は師匠の事を考えると…
眠ることができずに
気が付け朝になっていた…
お～
おっ
おー
もぉぉー
あほ
おかしくなるぅっ
ほぉー

寝不足の中
いつもより早く
師匠の家に
来てしまった
○○今日は
はやいなんっ…
来てくれたとこ
悪いのだが
今日の稽古は
中止で頼む♥
えっ
そんな
うぉ締まり
すごぉ♥
なっ○○が
まだいるんだぞ
すまん
○○…
僕の師匠が…
くっ……

次の日から
普通に稽古が
始まったが…
僕とギタリスは
別々のメニューが
用意されていた
僕が素振りを
してる時
じゅる
じゅぽ
じゅる
ぬぷっ
二人がどんな稽古を
しているのか知らない
いや今思えば
気づかないふりを
していたのかもしれない…

師匠の誕生日の夜…
サプライズで
お祝いしようとした
僕が見たものは
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
嬉々として
腰を振る
師匠の姿だった…
ギタリスの
お願いはもう
終わったはずなのに…

僕の師匠が…
パン♡
パン♡
あんな嫌な奴に…
師匠に無遠慮に種付けするのを
びゅるっ♡
びゅるっ♡
びゅっ♡
僕は扉越しに黙ってみることしかできない…
苦しい…はずなのに
どうしようもなく勃起していた…
ガク♡
ビクン♡
カリク
ガクガク♡